

無料



公益財団法人 生命保険文化センター

“社会人向け公開講座”としてもご活用いただける / 大学・短大等向け「出前授業」のご案内

冊子「生活設計とリスク管理」ご活用イメージ

目的

- ① 生活設計とリスク管理の考え方を理解する
- ② リスクへの対処手段である3つの保障手段の特徴を理解する
- ③ 生活設計における生命保険の役割を理解する



新入生向けに

オリエンテーションとして

就活生や卒業を控える学生などに

キャリアガイダンスとして

など

Point

01

無料！柔軟な対応！

夜間・休日可

- ◆ 交通費、謝礼などのご負担は不要
- ◆ 対面・オンライン・オンデマンドOK

Point

02

公正中立！実績多数！

- ◆ 全国の教育機関や自治体等で実績多数
- ◆ 公益財団法人ならではの偏りのない講義

Point

03

“これから”に役立つテーマ

- ◆ 生活設計とリスク管理
- ◆ 社会保険と生命保険
- ◆ 医療保険と介護保険
- ◆ 公的年金と個人年金 など

テーマ一覧



WEB申込フォームはこちら！

※ 裏面の申込用紙を使ったFAXでも承ります

※「本講座は将来あなたの暮らしの中で役立つと思いますか？」（大学・短期大学・専門学校対象）の「そう思う」「まあそう思う」の回答数合計（2024年度）

2024年度実績(大学・短大・専門学校)

実施校数 109校

講座回数 171回

受講者数 12,763名



95.3%
の受講者が
役立つ※！
と回答

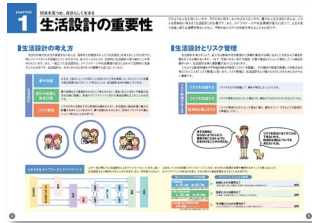
組織紹介

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976年(昭和51年)に設立され、2026年1月5日に創立50周年を迎える公益財団法人です。
「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の事業を3つの柱に、大学・高校等への講師派遣、一般消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成、生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動を行っています。

【お問合せはこちら！】生活情報室(大学担当) TEL: 03-5220-8157 / Mail: jitsugaku@jili.or.jp

講座内容(テキスト概要)

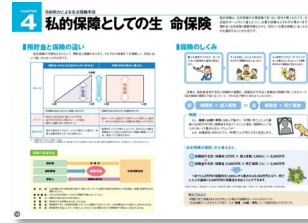
Ch.1: 生活設計の重要性



多様化するライフスタイル。
具体的な「生活設計」を軸に
「リスク管理」を考えます。

ライフイベントの費用など、
クイズ形式で学びます。

Ch.4: 私的保障としての生命保険



公的保障や企業保障。
必要な保障は人それぞれです。

私的保障の手段として、
預貯金と保険の特徴を把握し、
目的にあわせて使い分けます。

Ch.2: リスクと生活保障手段



私たちを取り巻く「リスク」。
(病気、事故、死亡など)

経済的損失や不利益を認識し、
3つの「生活保障手段」への
理解を深めます。

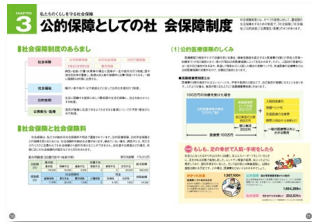
Ch.5: 生活設計と生命保険



保障ニーズによって使い分け、
ライフステージごとに見直す
「生命保険」を考えます。

販売経路や保険料計算など、
周辺知識にも触れています。

Ch.3: 公的保障としての社会保障制度



4つの社会保障制度のうち、
「社会保険」を理解します。

公的医療保険やその自己負担、
2階建ての公的年金保険、
公的介護保険のしくみなど。

学校からのお申込み無料！

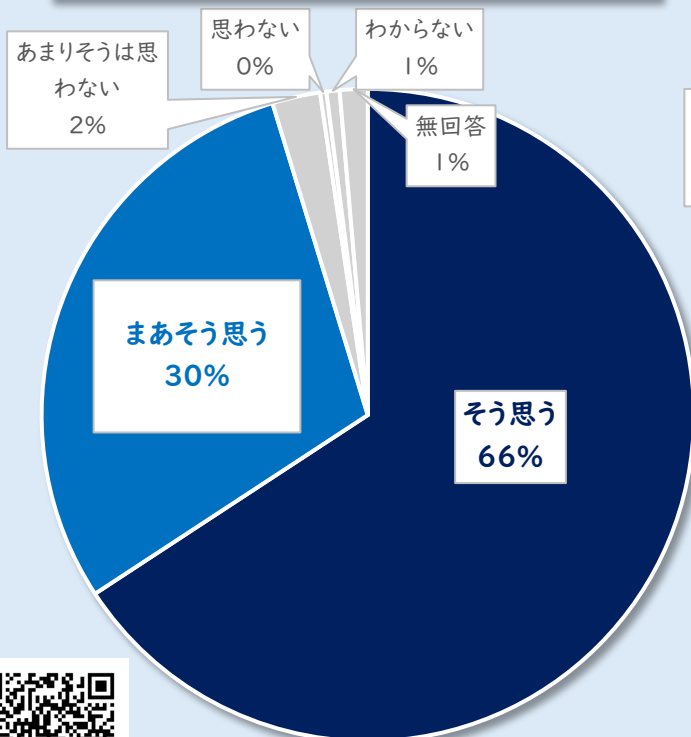
テキストの内容や
講座内容について
詳しくはこちら▶

<https://www.jlil.or.jp/school/book/1283.html>

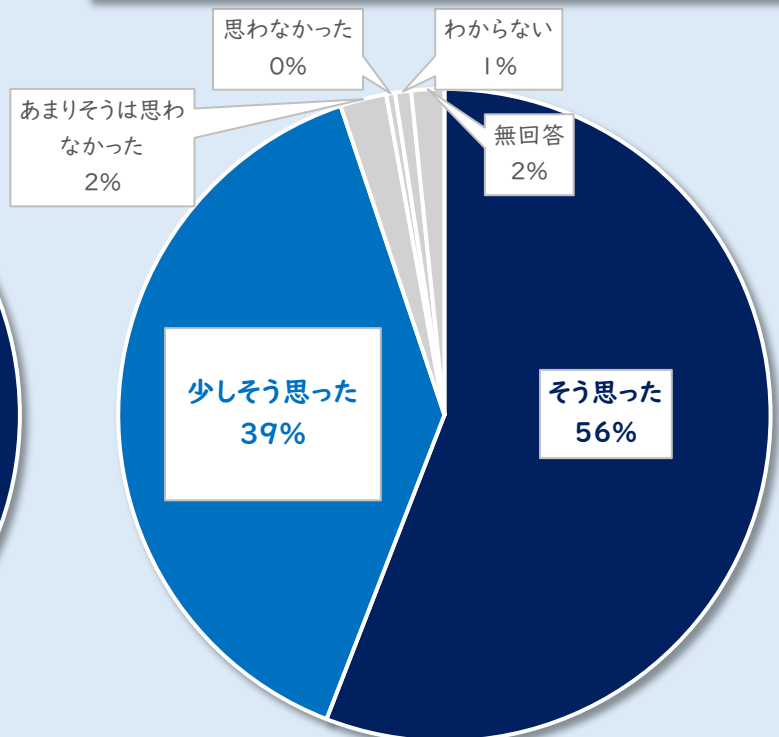


受講者アンケート結果

本講座は将来あなたの暮らしの中で
役立つと思いますか？



本講座を受講して自身の生活設計について
考えてみようと思いましたか？

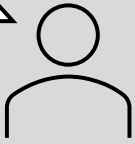


主催者・受講者の声

主催者

“
学生にとって大切だが、
なかなか話を聞く機会のないテーマ”

生活設計やリスク管理に接する
機会も少なく、自分たちではど
う伝えて良いのか分からない。



講座を終えて

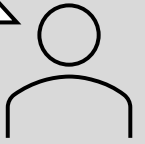
テーマ設定の段階から、親身な対応。
学生の反応が良かったのが印象的。

冊子やスライドも分かりやすく、
講師の話し方も聞き取りやすかった。

主催者

“
大人数が参加予定だが、
それぞれに考える機会を与えたい”

社会人目の学生に対し、
生活設計の考え方を伝えたい。



講座を終えて

自分事として真剣に聞いていた印象。
考えさせる時間も設けていただいた。

グループワークや双方向の授業展開。
質問の投げかけも適切だった。

大学1年生

“
保険は親に任せっきり…”

自分の保険のことなのに、
まったく把握していない…。



講座を受けて

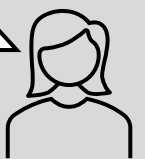
何となく避けてきた「もしも」の話。
今から意識することが重要と感じた。

この講座をきっかけに自分でも調べ、
自分事として捉えていきたい。

大学4年生

“
「老後の備え」とは言うけれど…”

年金や介護など、
何から準備すれば良いの…？



講座を受けて

公的保障の仕組みや、それを補う
私的保障の種類や重要性を学べた。

老後の備えについて見つめなおす
良い機会となった。

講師派遣 申込用紙

FAX:03-5220-9090

行政機関・企業等
学校関係者benkyo@jili.or.jp
jitsugaku@jili.or.jp

申込日 年 月 日

申込団体名			ご担当者		
ご連絡先	TEL	— —	FAX	— —	
	メールアドレス @				
ご希望日時	○第1希望 年 月 日() 時 分 ~ 時 分				
	可能であればご記入ください ○第2希望 年 月 日() 時 分 ~ 時 分				
ご希望テーマ	(その他:)		受講者数 (※)	_____名	
ご希望の 講座形式 (いずれかの□に✓)	☐ 対面講座 (直接講師を派遣し、教室・体育館・会議室等での講座) ☐ オンライン講座 (Zoomなど、インターネットを使ったリアルタイムによる講座) ☐ 講義を録画した動画の提供				
会場 (「対面講座」以外を ご希望の場合、郵便 番号・住所のみ記入)	〒 — 会場名() 最寄駅(駅)からの所要時間(徒歩・バス 分) 教室名など当日の訪問先()				
資料送付先 (実施会場と別の場合)	〒 — 送付先名()				
会場設備 (「対面講座」以外を ご希望の場合、記入不要)	・使用できる設備 (該当する□に✓) ☐ マイク ☐ 黒板・ホワイトボード ☐ プロジェクター ☐ PPT投影用パソコン ・講義用レジュメデータ受渡方法: ☐ メール送付 ☐ 講師がUSBで持参				
認知経路	☐ ホームページ ☐ ダイレクトメール(郵送・宅配) ☐ 電子メール ☐ FAX ☐ ご紹介(ご紹介者様) ☐ その他()				
申込実績	☐ 初めて ☐ 前年度より継続しての申込 ☐ 過去に申込したことがある				
その他 ご要望など					

※受講者数は原則、以下のとおりお願いします。

消費者向け…20名以上、職員・従業員向け…10名以上、消費生活相談員等、教員向け(中学校・高等学校)…5名以上

【学校関係者の方のみご記入ください】

受講者内訳	1年生:約_____名	2年生:約_____名	3年生:約_____名	4年生:約_____名
ご担当 科目・学部等	☐ 家庭科 ☐ 社会科・公民科 ☐ 国語科 ☐ 総合学習の時間 ☐ その他()			
	☐ 学部名:() 科目名:()			
	☐ その他()			

※テーマ、日程等によってはご希望にそえない場合があります。

※ご記入いただきました内容は、学習会等実施の際の連絡、資料等の送付および講師派遣のご案内に利用させていただきます。

※お申し込み後、一週間以内に生命保険文化センターよりご連絡させていただきます。

一週間経過後も連絡がない場合は、お手数ですが「03-5220-8517」講師派遣担当までご連絡ください。

(センター記入欄)

講義種類	コード(実績年)	仮登録日(登録者)	連絡日(手段/連絡者)	本登録日(登録者)
実学・学習会・() ()	E ()	(/)	(メール・電話/)	(/)

【2021年1月改訂】